

# 「りんごの会 秋の集い」を開催しました

## 4階東病棟看護師 藤木 加奈

当院で乳房の手術を受けられた方の親睦を深め合う場として、「りんごの会」を平成9年から始めました。「りんごの会 秋の集い」は、今年で記念すべき20回目を迎え、60名以上の患者さんやご家族に参加いただき、国体町の新病院で開催することができました。

今回は、四国がんセンター 遺伝カウンセラーの金子景香先生とメディカルビューティーラウンジの山岡純三先生に講義・講演を行っていただきました。

金子先生の講義では「乳癌の遺伝カウンセリングとは

～正しく知って適切に対応するためには～」と題してお話しいただきました。現在、乳がんでは5～10%の遺伝的にがんになりやすい体質の人がおり、その家族も遺伝的にがんになるリスクがあるといわれているそうです。乳がん患者さんの中には、自分自身の病気・治療のことだけではなく「自分のがんは遺伝によるものなのか、家族にも遺伝するのではないか」という不安の中で、病気と闘っている方がおられます。そのような患者さんの相談を受け、必要に応じてご家族とも面談を行いながら、詳しい知識や今後の対策について助言を行っているそうです。

山岡先生には「脱毛に伴うストレス軽減のヒント」についてご講演いただきました。乳がん患者さんの中には、抗がん剤治療による脱毛からウィッグを使用される方も多くおられます。講演される中で脱毛を「隠す」のではなく、「装う」という考え方もあることを知り、実際にスタッフが着用することでウィッグに対する考え方に変化があるようでした。髪に関わるプロとしてがんと共に生き、自分らしく生きるための外見ケアの大切さを教えていただきました。

同じ疾患・経験を持つ患者さん同士が集まり、いろいろな情報を取り入れることができる良い機会になったと思います。

